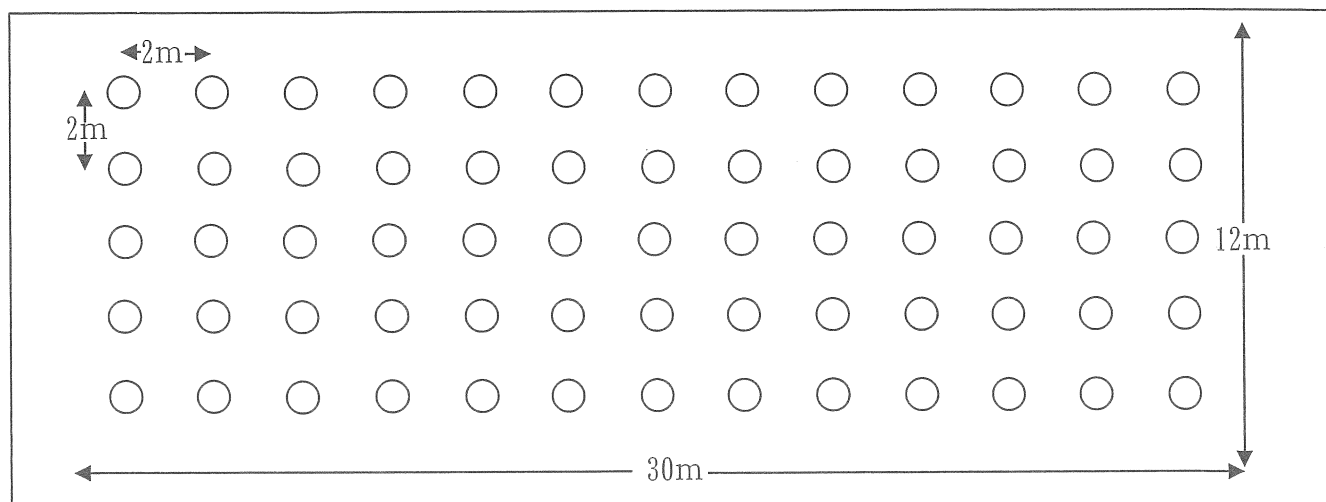


交通誘導警備業務（２級）実技運用マニュアル No. 5

＜徒手による護身術（基本）＞

（内訳：解説、模範演技－５分、集合訓練－２５分）＜時間配分＞３０分



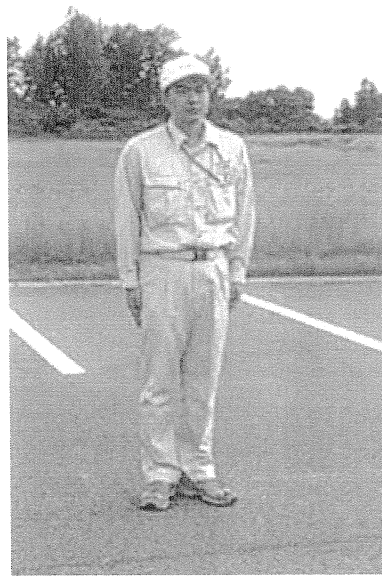
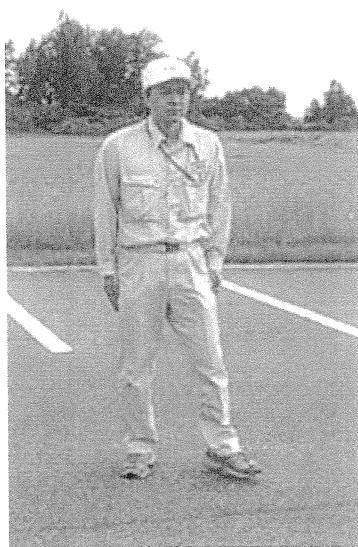
- 1、責任講師は、受講者を集合させ、『徒手の護身術（基本）』の実技訓練を実施する。
- 2、責任講師は、受講者を横隊で整列させ、以下の説明を行う。
『護身術の一つとして、【構え方】、【体さばき】、【ひじ寄せ】、【片手内回し】・【片手外回し】、【突き離し】の各基本訓練を行う。』
- 3、責任講師は、模範演技見学时は前列を座らせる等の措置を取る。
※訓練時は、両手距離間隔で整列させる。
- 4、責任講師は、項目ごとに、講師が実施する模範演技の解説を、以下の要領で行う。
号令；『只今から、徒手による護身術の実技訓練を実施する。』

（１）正面の構え

- ア 『正面に構え。』の号令で、気をつけの姿勢から左足、右足を約半歩進め、両足の間隔は１足長とする。両腕は自然に垂らし、相手を注視する。

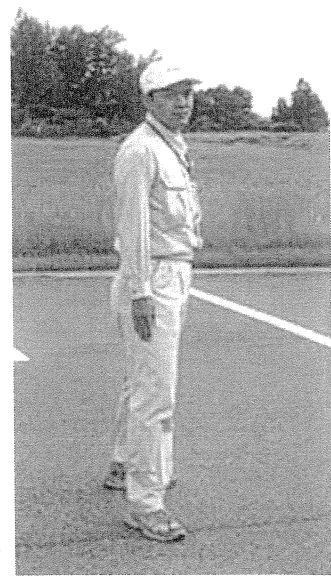
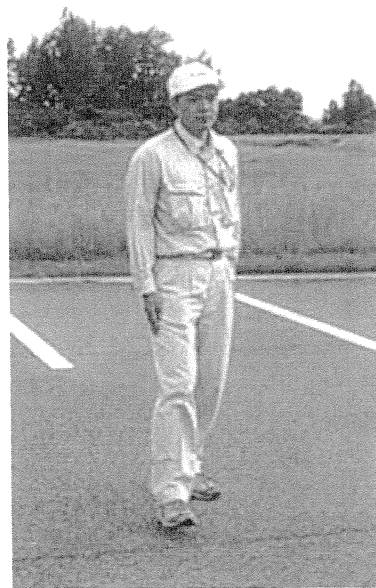
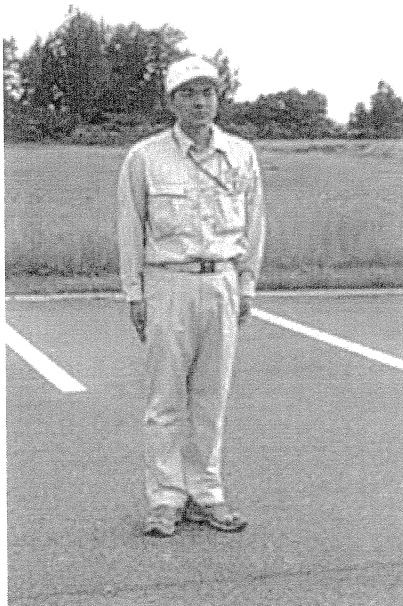


- イ 『直れ。』の号令で、右足、左足の順で元の位置で戻り、基本の姿勢となる。

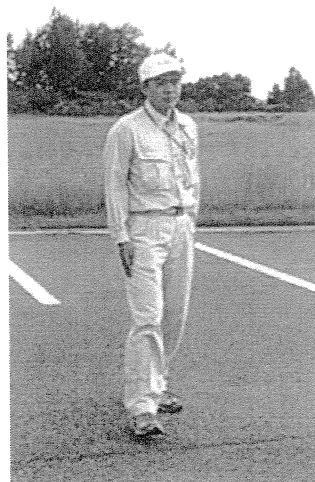


(2) 右の構え

- ア 『右に構え。』の号令で、基本の姿勢から右足を半歩前に進め、左かかとをやや内側にずらし、正面を注視する。

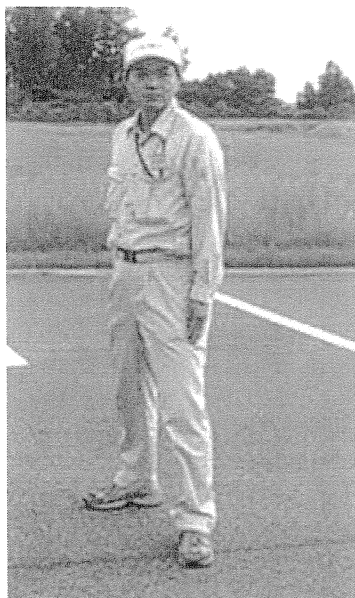


- イ 『直れ。』の号令で、右足を引いて戻り、基本の姿勢となる。



(3) 左の構え

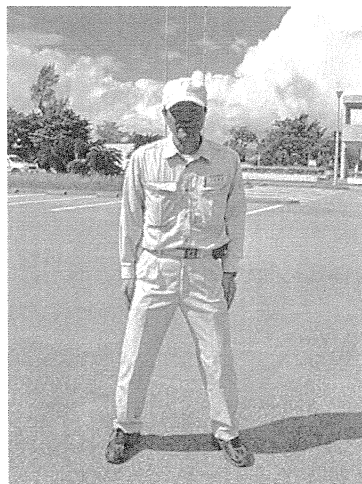
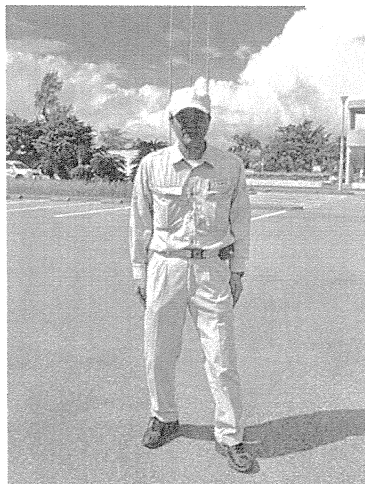
ア 『左に構え。』の号令で、基本の姿勢から左足を半歩前に進め、右かかとをやや内側にずらし、正面を注視する。



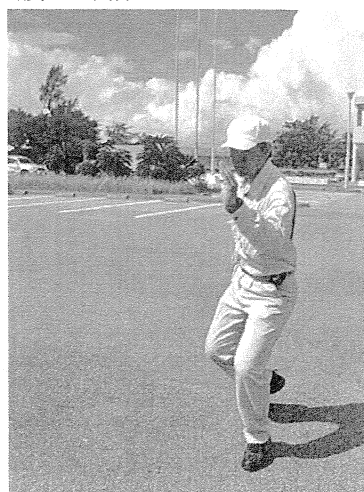
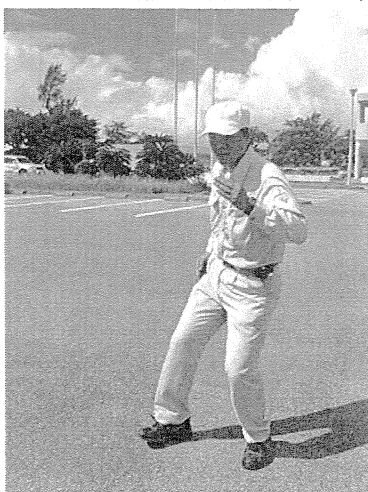
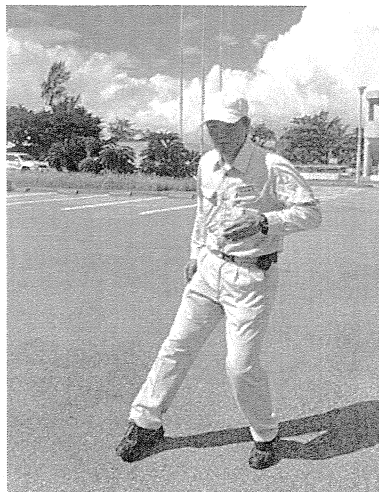
イ 『直れ。』の号令で、左足を引いて戻り、基本の姿勢となる。

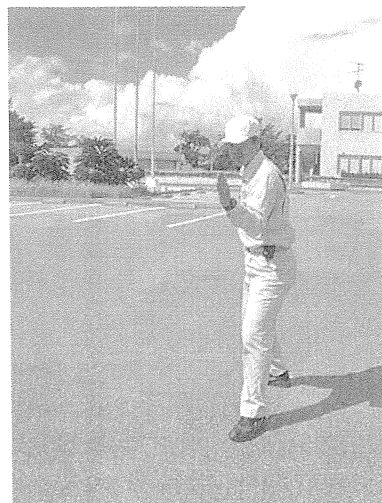
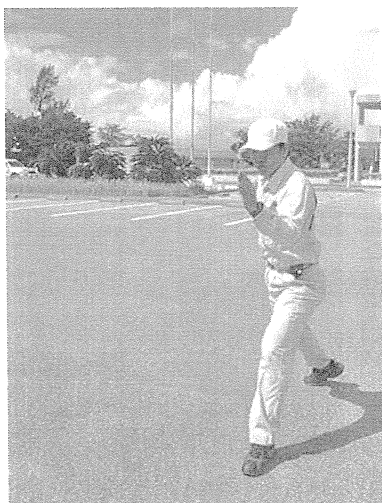
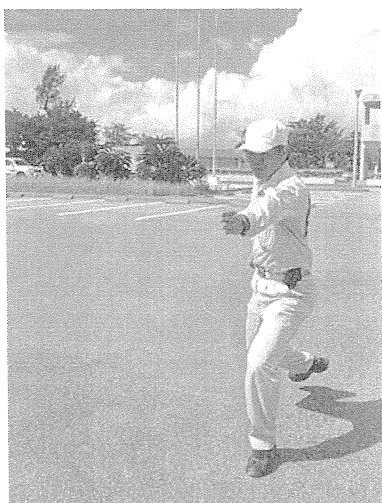
(4) 後ろさばき

ア 『後ろさばき、用意。』の号令で、正面の構えとなる。

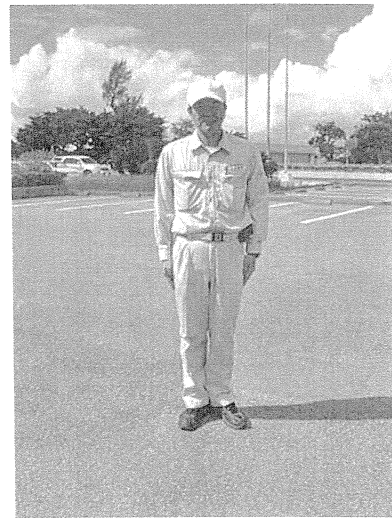
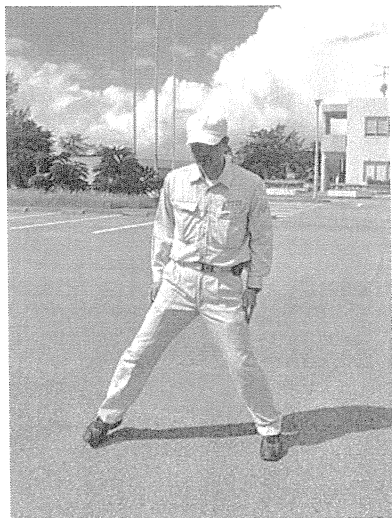
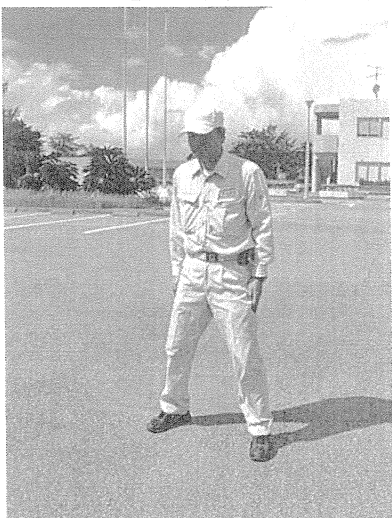


イ 『始め。』の号令で、右足を左斜め後ろに引くと同時に左足をやや引き付けるようにして、体を右に開くとともに、左手刀で相手の前腕を打ち払い、右手を腰に身構える。



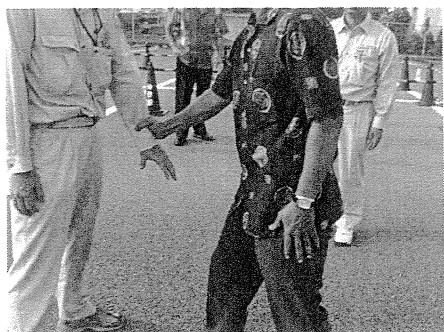


ウ 『やめ。』の号令で、元の位置に戻る。

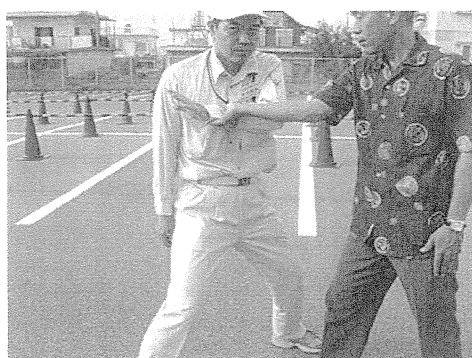


(5) ひじ寄せ

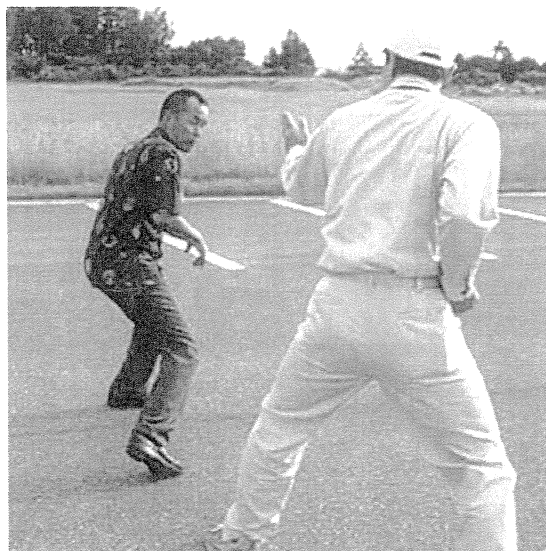
ア 『ひじ寄せ、用意。』の号令で、約1メートルの間合いに進み寄り、正面の構えとなって向かい合う。



イ 『始め。』の号令で、相手は右手で、警備員の左手首を順につかむ。



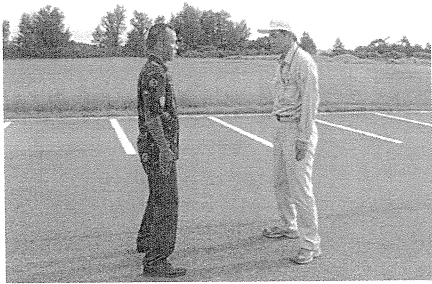
ウ 警備員は、つかまれた手の五指を開き、手のひらを地に向けて前腕を水平にしながら、左足を相手の右足先の外側近くに進めると同時に、その足先を軸にして体を開き、左ひじで相手の右前腕の外側を押すようにして切り離し、身構える。



エ 『やめ。』の号令で、元の位置に戻る。

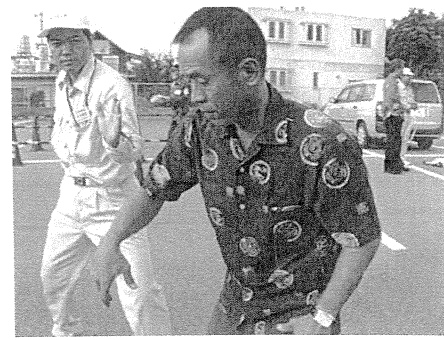
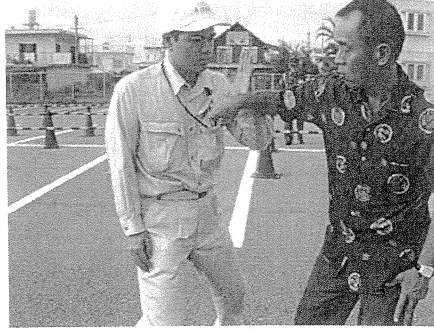
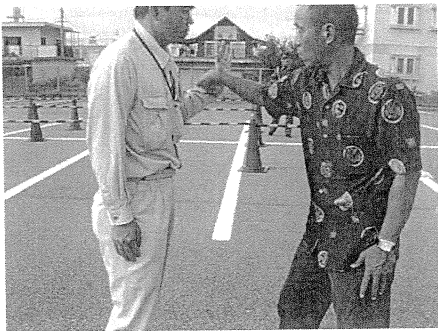
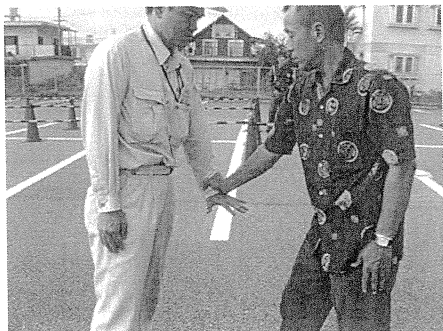
(6) 片手内回し

ア 『片手内回し、用意。』の号令で、約1メートルの間合いに進み寄り、正面の構えとなって向かい合う。

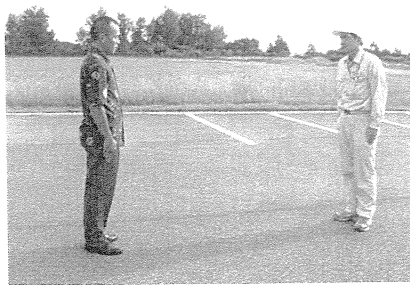


イ 『始め。』の号令で、相手は、右足を1歩進めると同時に右手で、警備員の左手首を順につかむ。

ウ 警備員は、つかまれた左手の五指を開いて指先に力を入れ、左足を相手の右足外側に大きく踏み出し、つかまれた手を左から弧を描くように内に返すと同時に、左足を軸にして体を開きながら切り離す。

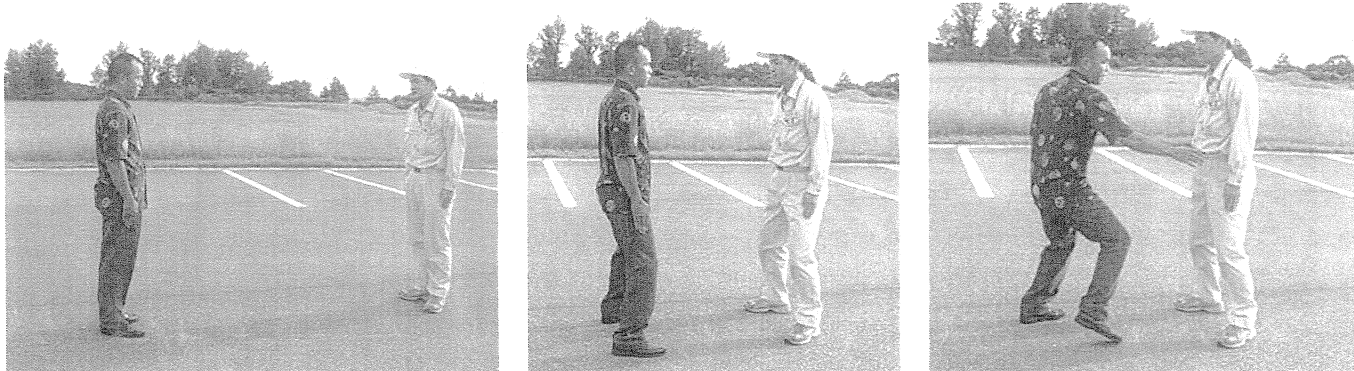


エ 『やめ。』の号令で、元の位置に戻る。



(7) 片手外回し

ア 『片手外回し、用意。』の号令で、約1メートルの間合いに進み寄り、正面の構えとなって向かい合う。



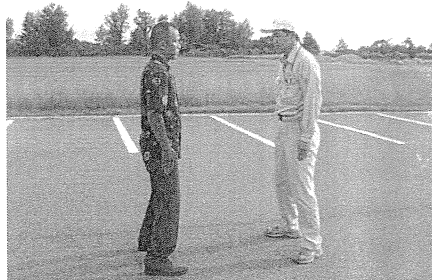
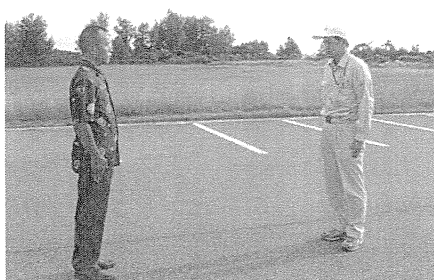
イ 『始め。』の号令で、相手は、右足を1歩進めると同時に右手で、警備員の左手首を順につかむ。
ウ 警備員は、つかまれた左手の五指を開いて指先に力を入れ、つかまれた手を右から弧を描くように外に返すと同時に、左足を一步踏み出しながら切り離す。



エ 『やめ。』の号令で、元の位置に戻る。

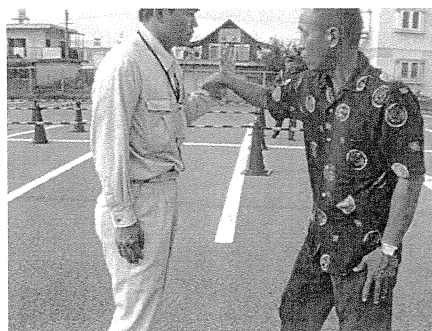
(6) 片手内回し

ア 『片手内回し、用意。』の号令で、約1メートルの間合いに進み寄り、正面の構えとなって向かい合う。



イ 『始め。』の号令で、相手は、右足を1歩進めると同時に右手で、警備員の左手首を順につかむ。

ウ 警備員は、つかまれた左手の五指を開いて指先に力を入れ、左足を相手の右足外側に大きく踏み出し、つかまれた手を左から弧を描くように内に返すと同時に、左足を軸にして体を開きながら切り離す。



エ 『やめ。』の号令で、元の位置に戻る。

